

令和3年度（2021年度）宮崎大学入学者選抜における大学入学共通テストの
英語の資格・検定試験の活用方法について

令和元年7月に、令和3年度（2021年度）宮崎大学入学者選抜における大学入学共通テストの英語の資格・検定試験の活用方法について公表したところですが、この度、大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜・総合型選抜における取り扱い等について、下記のとおり予告します。

記

1. 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜・総合型選抜における英語について

民間の資格・検定試験（以下『検定試験』という。）を全受験生に課すとともに、共通テストにおいて実施される英語を併せて課すこととし、それらの双方の結果を入学者選抜に活用します。

ただし、外国語のうち英語を必須としない学部・学科・課程等において英語を選択しない場合を除きます。

活用方法は次のとおりとします。

①学校推薦型選抜

【教育学部】

CEFR 対照表の段階毎に、点数を定め、共通テストの英語試験の得点に加点します。

【医学部】

医学科においては、CEFR 対照表における「A2」以上を出願資格とします。

看護学科においては、CEFR 対照表の段階毎に、点数を定め、共通テストの英語試験の得点に加点します。

②総合型選抜

【教育学部】

CEFR 対照表の段階毎に、点数を定め、共通テストの英語試験の得点に加点します。

2. 「大学入試英語成績提供システム」で提供される2回の成績の利用方法について

全ての入試区分において、CEFR の段階別評価やスコアの良い方の成績を利用します。

以上